



アジャイルコーチングの事例

～あなたの Rebootは？～



自己紹介



KPTAの伝道師、カイゼンのレジェンド

アジャイルコーチ／チームファシリテーター

天野 勝



Scrum Inc. 認定 Scrum Trainer



チームと伴走してプロジェクトゴールを達成する若手アジャイルコーチ

アジャイルコーチ

一條 凌佑



Scrum Inc. 認定 Scrum Master



PMP® (Project Management Professional)



永和システムマネジメントの紹介

永和システムマネジメント
esm
アジャイルで日本を変える！

本社／福井市



 Agile Studio



 Agile Studio PARK



WeWork



- ・金融、医療、組込み(自動車)
- ・Web/Cloud、アジャイル開発
- ・社員 220名エンジニア集団



12月5日 「アジャイル開発の基礎知識」 研修

アジャイル開発の基礎知識

2025年12月5日(金) 9:00-17:00

場所: 永和システムマネジメント 東京支社
参加費: 50,000円(税抜)



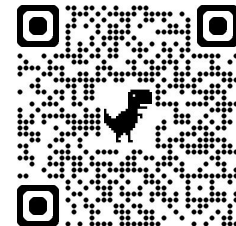


3月12日-13日 アジャイルアンギャ三島

永和システムマネジメント主催
Scrum Inc. 認定
スクラムマスター研修

アジャイルアンギャ

静岡
開催





Reboot! ものの見方が変わった

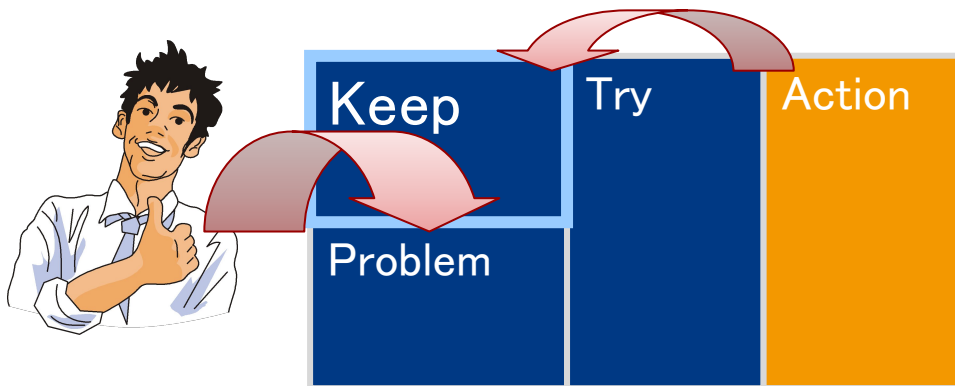
～研修による思考の質の変化～



自分の常識は他人の非常識

- 次も続けること(Keep)
 - テーマがある場合は、テーマの達成や向上に寄与していること
 - どんな些細なことでもよい(一番難しい)
 - チームでやる場合でも、個人的なことを挙げてよい
- 前回のTry、Actionがあれば、それを次も続けるか検討する

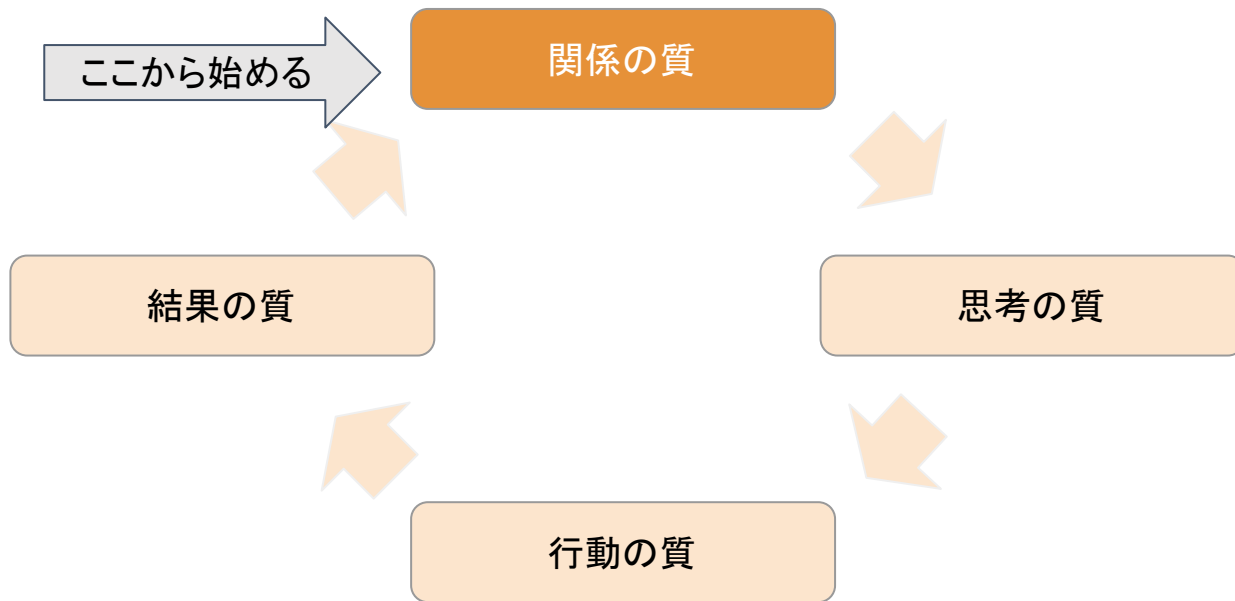
- ポイント
 - 「良いこと(Good)」を挙げてよい
 - ただし、「良いこと」は現象なので、続けられない
 - その現象を引き起こす行動(Keep)を確認する
 - GKPTAフレームワークを使ってもよい



参考:「[アジャイルレトロスペクティブ入門\(KPTA\)](#)」研修テキスト



成功循環モデル



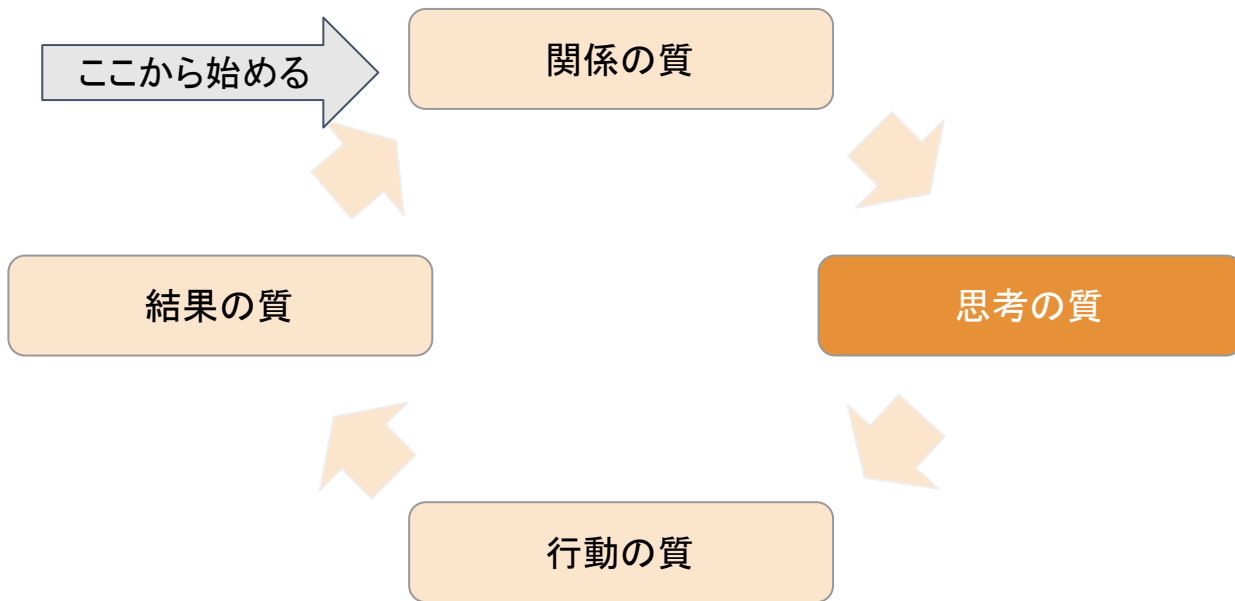
参考：「WHAT IS YOUR ORGANIZATION'S CORE THEORY OF SUCCESS?」 <https://thesystemsthinker.com/what-is-your-organizations-core-theory-of-success/>

結果の質を向上させるには、関係の質の向上から始める





研修で「思考の質」が変化した



参考：「WHAT IS YOUR ORGANIZATION'S CORE THEORY OF SUCCESS?」 <https://thesystemsthinker.com/what-is-your-organizations-core-theory-of-success/>

思考が変われば、行動が変わる





アサーティブの概念を知って行動が変わった



このプロジェクトを通して自身が成長したと実感していることは？

井田さん：「アサーティブなコミュニケーション」という考え方を知ったことで、コミュニケーションのスタイルに変化がありました。これまでの仕事の多くは、上から依頼された仕事を完遂さえすればよいものだと思っていました。自分の考えを主張するような場面はまれでした。このプロジェクトでは、チームで考えて決めていくために、年次や立場を気にせずに、対等にコミュニケーションをしています。

上から依頼されたものを、依頼された側は完遂さえすればよい、という考え方は、取引先とのコミュニケーションにも現れていました。今回のシステムは、取引先にも使ってもらうもので、本番運用の前に何回かフィードバックもらいながら開発を進めました。

本番運用後にシステムの感想を聞いたときに「西島さんにしては、珍しく愛のある仕組み」という意見をもらいました。これを見て「ポジティブな感想を書いてくれてありがとう」と、「これまで様々なことを押し付けてしまっていてすみません」が混じった気持ちになりました。

第2弾



株式会社西島製作所 様 インタビュー

アジャイル開発と人材開発

～アジャイル開発への取り組みで人材の成長を加速させる～



出典：「アジャイル開発で人材開発 ～アジャイル開発への取り組みで人材の成長を加速させる～」 <https://www.agile-studio.jp/case/torishima-3>





アサーティブコミュニケーション



アサーティブコミュニケーション

- 主な対象者

スクラムマスター、プロダクトオーナー、開発者、チームリーダー、マネージャー

- こんな方におすすめ

自分も相手も大切にする自己表現の方法を身につけることでチーム内のコミュニケーションを円滑にし、よい人間関係を築きたい

- 所要時間・日数

2-3時間



演習での体験を通じてアジャイルマインドを理解

「アジャイル開発の基礎知識」研修のお気に入りポイント

竹中さん

私は、ゴリゴリのウォーターフォールなシステム会社での経験が長いです。そのため実際に自分も研修に参加するまでは「アジャイルなんてできるのか？」という感覚を持っていましたが、認識が改まりました。

研修の最後の質疑応答で、「そうは言っても自部署だと仕事の進め方に難しい」「理解はできたが、実務で本当に効果が出るのか？」という話題になった時に、「絶対にアジャイルが正しいというわけではない」

「領域によって適するところと、そうではないところがある」「**一部分でも活かすことができれば、少しずつ変わっていける**」ということを、対話的に少しずつ深堀っていただいたのが印象的でした。

演習での体験を通じて、アジャイルというのはこうやって進んでいくのだなぁと体感として掴めました。



システムを超えて広がるアジャイル

丸井グループが描く未来像





じょうのパート



大事な本番なのに、
声が出なくなっていました。。泣



ちょっとだけ言い訳をさせてください

2週間前



風邪引いた。。
でも、Agile Japan前で
よかったー！

1週間前



ほぼ復活！
Agile Japan楽しみ！！

3日前



あれ、、急に声
が出なくなった。
まあすぐに治るでしょ

昨日



まだ声出ない。。
明日どうする??



こうなったら、
スライドだけで思いを伝えよう！
身振り手振りも少し



どうか温かい目で
見ていただけると嬉しいです
(シンプルなスライドでいきます)



では、始めていきます！



今日お話ししたいのは、
チームの Reboot のこと。



**チームが“止まりそうになる瞬間”
ってありませんか？**



進んでいるようで、進んでいない感じ

スプリントを回しているけど、
“どこに向かっているか”が曖昧

ふりかえりでアクションは
出るけど、一つも実行されない

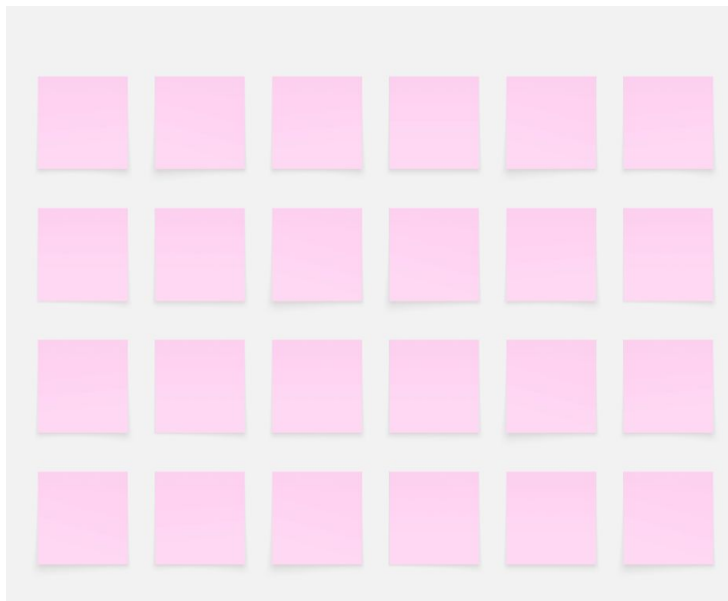
会議はしている。
でも、意思決定は進まない



そんなとき、
チームの Reboot は何をきっかけに
始まるんでしょうか？



皆さんの考えをぜひ、 Miroの付箋にかきかきしてください！



11:00-11:20

アジャイルコーチングの事例

- あなたのRebootは？

アジャイル開発の導入や定着を支援してくれる存在、それがアジャイルコーチです。

そう語られることも多いですが、実際はそれだけにとどまりません。

「アジャイル」コーチではありますが、支援対象は、アジャイル開発にこれから携わるチームはもちろんのこと、アジャイル開発をしていない開発チームや、システム開発からは遠い組織まで多岐にわたります。

共通点は、「今より1%でも良くしたいと切に願い、行動を起こしている」ことです。

何かを変えたいからこそ、ご相談というアクションにつながるのです。

何を変えたくてご相談いただいたのか？ 得られた成果は？

そんな「Reboot事例」を複数ご紹介します。



天野 勝さん / Masaru Amano

株式会社永和システムマネジメント
アジャイルコーチ/KPTAエバンジェリスト



今日は私たちの支援が
チームを（ちょっと）Reboot した事例を
2つ紹介したいと思います



1つ目

ふりかえり で 外からReboot



あるところに、 こんなチームがありました

- ・ 発足から1年半
- ・ 総勢7名
- ・ ビジネス/開発含めた
7人の非スクラムチーム
- ・ 最近リリースを実施



やっとリリースした！！
でも、手応えよりも
モヤモヤの方が大きかった



モヤモヤの正体（後々聞いてみると）

- ・ ビジネスと開発の“達成感のズレ”
- ・ うまくいったこと、
いかなかったことの整理ができてない
- ・ 技術的負債の積み上がり



(チームの中から声が上がった)
いったん、立ち止まって
チームで話をしたい



ご縁があり、
あまびょん&じょうで
外から“立ち止まる場”をつくることに



そこでやったことは、 半日のふりかえりワークショップ

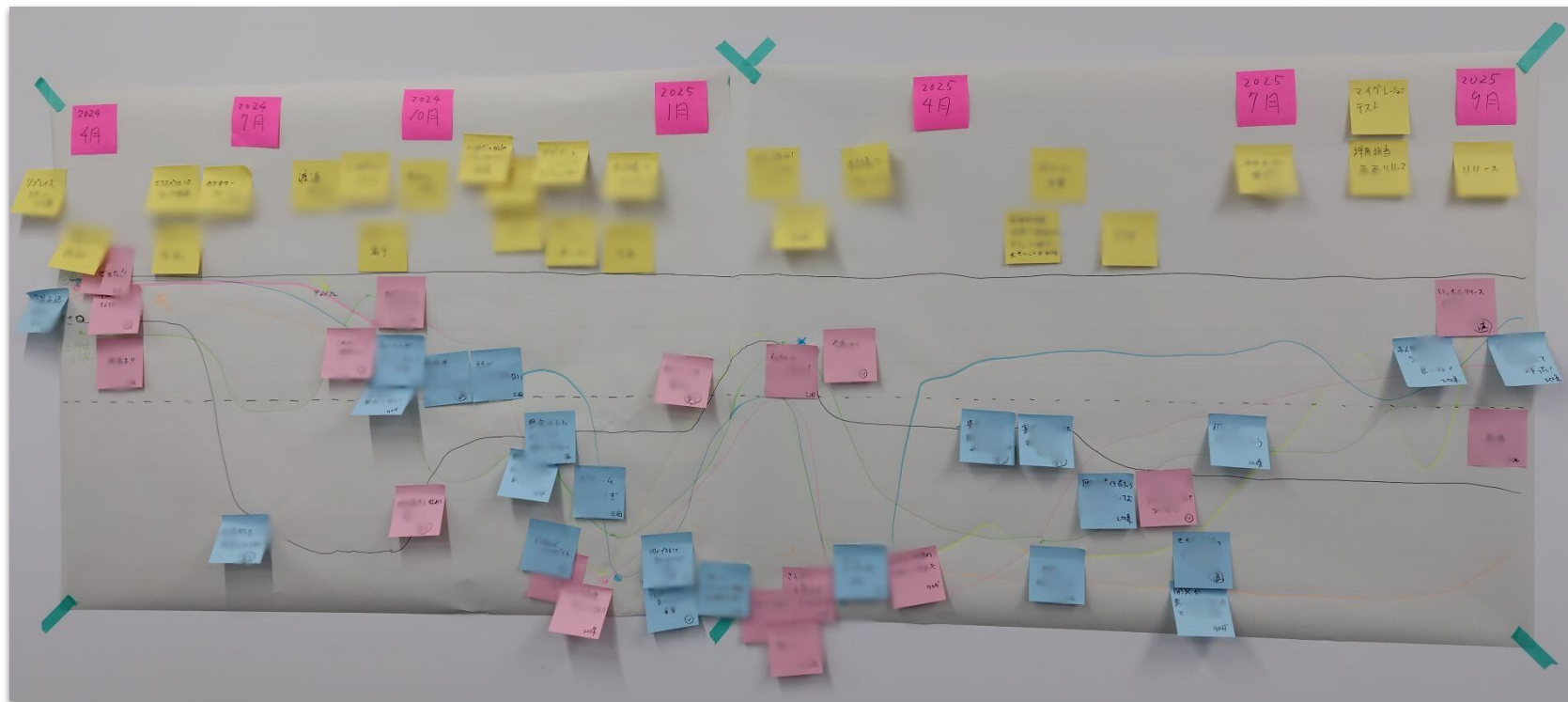


やったこと

- ・ **タイムライン × 感情曲線 ふりかえり**
→ プロジェクトの発足からリリースまでの歩みと感情を可視化
- ・ **SailBoat ふりかえり**
→ 自分のチームを船として、
次のゴール（宝島）・課題（錨）・リスク（暗礁）・
強み（追い風）を対話で整理
- ・ **出たアクションを整理（優先度 × 労力） & タスク化**



タイムライン × 感情曲線





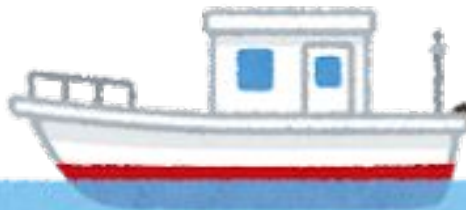
SailBoat (ざっくりイメージ)

宝箱 (次のゴール)

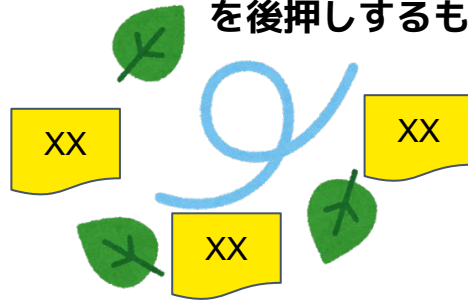


XXXX

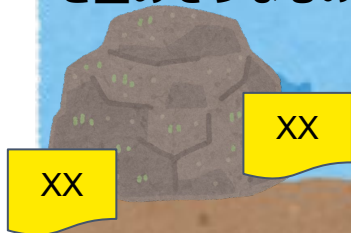
自分のチーム (船)



追い風 (チームの進みを後押しするもの)



暗礁 (今後チームの進みを止めそうなもの)



錨 (チームの進みを止めるもの)





起こったこと（参加者の感想）

- ・ **お互い（ビジネス/開発）の気持ちが少しわかった**
あの時、こんなことが起こってた（考えてた）のに気づけた
- ・ **次の具体的なアクションを決めることができた**
いつ・誰が・何をするのかまでタスクに起こすことができた
- ・ **リスクの共通認識ができた**
AIの脅威（既存のサービスがAIで置き換わる）を改めて
共通認識することができた



2つ目

合宿で Reboot



あるところに、 こんなチームがありました

- ・ 永和がスクラムマスター（じょうともう1人）
- ・ 総勢20名（現地とリモートが混在）
- ・ 複数チームで構成されたスクラムチーム
- ・ 直近のリリースは、ウォーターフォールを採用
- ・ チーム再編や人の入れ替わりが続いていた
- ・ ここから新規の開発に向けて“スクラムに戻したい”



チームとしてこれからが
少し見えにくくなっていました

だから、もう一度、
足並みをそろえたかった



でも、日々のスクラムイベントだけでは向き合いきれませんでした



だから、全員が集まる
合宿（1泊2日）という場
をつくることにしました



合宿という場をつくる

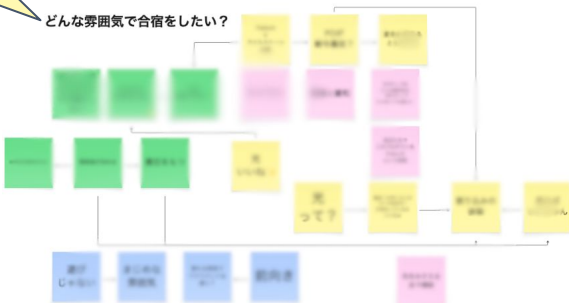
XXXチーム合宿作戦会議

チェックイン (今の気持ち)

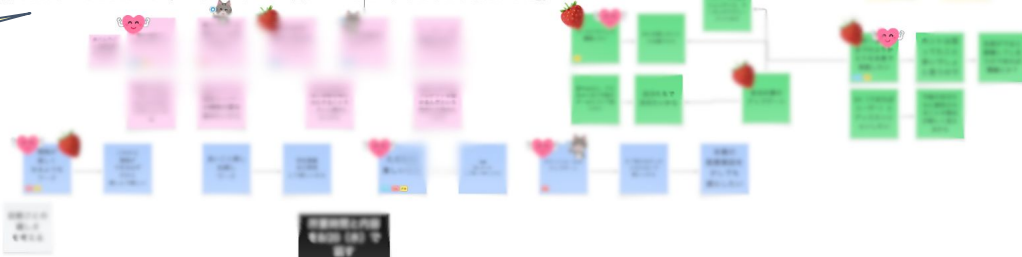


どんな雰囲気
進めたい？

どんな雰囲気で合宿をしたい？



合宿でどんなことをしたい？ (ユーザーストーリー風に「XXしたい、なぜならOOだから」)



どんなことが
したい？

終わった後、
どうなっていたい？

合宿後どうなっていたい？





やったこと（一部）

- ・ **偏愛マップ & 他己紹介**

→ お互いの興味・好きなことを知り、安心して話せる関係性をつくる

- ・ **紙ヒコーキ スプリント体験**

→ 小さく作り、ふりかえり、改善する“スプリントの本質”を再体験

- ・ **“自分たちのスクラム”を描くワーク**

→ 今自分たちがやっていることを
スクラム未経験の人に伝えるとしたらというテーマで発表

- ・ **ユーザーインタビュー準備ワーク**

→ 開発者が実際にユーザーにインタビューをできる機会があったら、
どんなことを聞いてみる？をディスカッションしてまとめる





起こったこと（合宿後に観察してみても）

- ・ **新メンバーを含めたつながりがより強くなった**
得意・関心・悩みを共有し、話しやすい空気が生まれた
- ・ **チームの進む方向がそろってきた**
イベントを自分たちで再定義するなど、
スクラムに戻すためのアイデア・改善案が出始めた
- ・ **“自分たちで動く” 行動が増えた**
新メンバーの開発者が提案し、
プロダクトオーナーとの議論が自然に立ち上がった



お伝えしたいこと



小さくてもいいから、
チームから出る
“モヤモヤ”や“違和感”を拾う
(全部は拾えなくても大丈夫。
ひとつ拾えるだけでも、前に進める)



終わった後、
どんな状態になっている
と嬉しい？

どんな雰囲気
で進めたい？

そして、
みんなで話せる “場” をつくる。

どんなことがしたい？



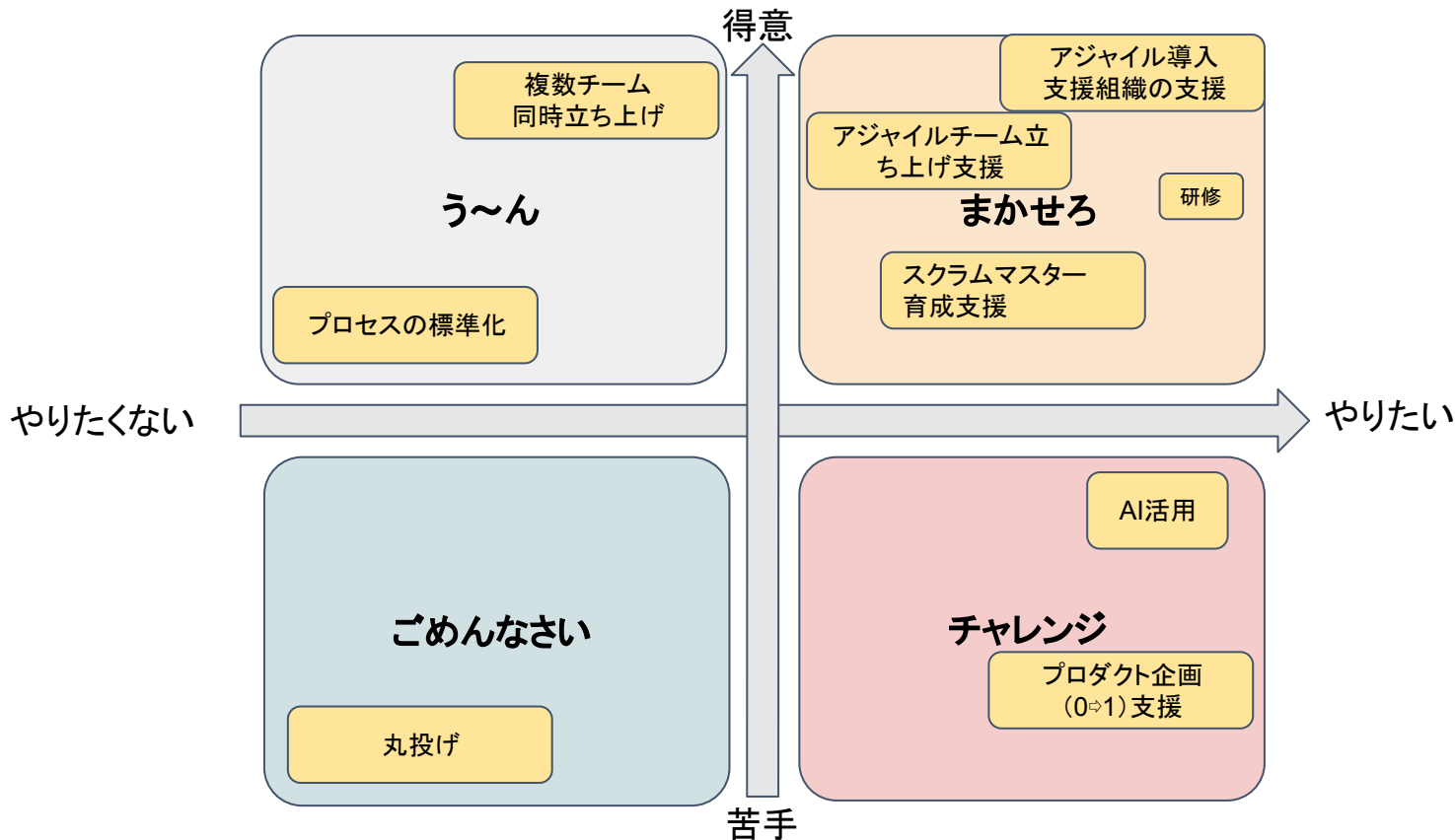
ありがとうございました！
あまぴょんにバトンタッチ！



あなたのRebootは？



あなたのRebootを支援します





12月5日 「アジャイル開発の基礎知識」 研修

アジャイル開発の基礎知識

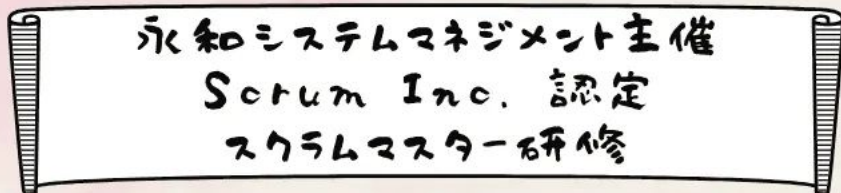
2025年12月5日(金) 9:00-17:00

場所: 永和システムマネジメント 東京支社
参加費: 50,000円(税抜)



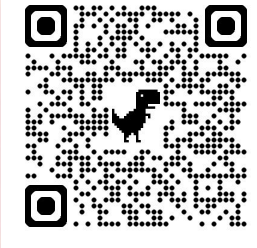


3月12日-13日 アジャイルアンギャ三島



アジャイルアンギャ

静岡
開催





アジャイルコーチが ブースで待ってます！！

